

# *Gifts from NARA*

## 奈良の贈り物

生活と真剣に向き合ったモノづくりをしているか／生活を豊かにするものか  
奈良のものづくりの評価を高めるものか／時代の感性にマッチしているか  
県内の方には現代感覚を感じてもらえるか／県外の方には奈良を感じてもらえるか  
海外の方には奈良のエレガンスを感じてもらえるか



## お砂糖の色彩を生かした葛菓子



### 「五つの彩りを五種類のお砂糖によって表現」

- |         |            |
|---------|------------|
| ■ 星とダンス | 600円 (税別)  |
| ■ 水との戯れ | 700円 (税別)  |
| ■ 森の中へ  | 1000円 (税別) |
| ■ そして訪れ | 2000円 (税別) |

TSUJIMURA (つじむら)  
吉野郡吉野町吉野山950  
TEL.0746-32-3032  
<http://tsujimura-yoshino.com>

「TSUJIMURA」は、日本でも有数の桜の名勝「吉野山」にあります。

洗練された店内に入ると天井や壁面に用いた杉の香りが貴方を迎えてくれるお店です。伝統的な作り方による葛菓子は、吉野本葛ならではの口溶けのなめらかさと五つの彩りを五種類のお砂糖によって表現することで風味の違いを最後の一つまでお愉しみいただけるお菓子になっています。どこか懐かしみ思えて、新しくとも感じる御菓子です。贈り物として新しい印象を演出してくれます。

## 上質でまろみのある煎茶



「高級かぶせ煎茶の醍醐味を体験」

■ かぶせ煎茶「玉響」・「気宇」

5000円（税別）

株式会社 ティーフาร์ม 井ノ倉

奈良市月ヶ瀬桃香野4877-2

TEL.0743-92-0733

<http://www.inokura.co.jp>

奈良県北東部にある月ヶ瀬に代々つづく茶園。  
朝霧たちこめる谷間で、有機栽培を主とした環境に  
やさしい土作りから取り組み、丹精込めて育てられ  
た茶葉は、湧水を使って蒸し、より透明感のある水  
色（すいしょく）と、まろ味を旨指して作られてい  
ます。少し冷ましたお湯を、茶葉に掛からないよう  
に急須の縁からそそぎ、茶葉が八分目ぐらい開いた  
時が合図、最後の一滴までそそぎいれると、透明な  
青みを帯びた水滴が茶碗を満たしていきます。それ  
は作り手の想いが貴方の手で完成された証しかもし  
れません。

## 手軽に作れるハーブ酒



### 「ココロとカラダを温める生活習慣」

- プリメーロ・エナジーフロー 900円 (税別)
- セグンド・ビューティーダンス 900円 (税別)
- テルセーロ・バイタルハーモニー 900円 (税別)

薬王製薬 株式会社 / YAQUO ウォームズ研究所  
磯城郡田原本町 245 番地  
TEL.0744-33-5888  
<http://www.yakuo.co.jp>

「YAQUO ウォームズ研究所」は、130年の歴史を誇る製薬会社が「カラダを温める」をテーマに製品を開発している研究部門です。

「手軽に作れるハーブ酒」は、大和トウキの葉やクコの実、乾燥シヨウガなど、身体を温める食品素材をもとに美容や活力、また、おだやかな生活を送るために、目的別に原材料を組み合わせた3タイプを取り揃えました。ご自分でホワイトリカーや焼酎などに漬け込み、お好みの飲み方や味付けて手軽にハーブ酒を造って美味しく飲んで楽しむことができます。

## 男の子の成長を祝う大和の餅菓子



### 「伝統的な大和の餅菓子を復活」

■ 子福利餅 2000円（税別）

吉田二福堂

天理市丹波市町12-1

TEL.0743-62-2290

檜舎

奈良市中院町22-3

TEL0742-22-8899

享和年間の歳時記に筆記されている子福利餅は、こ  
ごり・こつごりとも呼ばれる大和の餅菓子の一つです。  
正月用の黄粉作りの余材、つまりふるいにかけて後の  
粗い大豆と、餅米・米粉を合わせ作られました。男児  
の祝いの意を込めて作り近所へ配ったといえます。そ  
の伝統菓子が天理のまちおこし団体「まほら座」の働  
きかけで雅な土菓子に生まれ変わりました。口に入れ  
るとまずほんのりした上品な甘さが、間を置いて豆の  
香ばしさが広がります。

※こちらの商品は事前に予約が必要です。

## 柿から生まれた御菓子〜かきいろ



### 「柿本来の味を生かした御菓子」

|          |            |
|----------|------------|
| ■ 柿のもなか  | 120円 (税別)  |
| ■ 柿の蜜    | 400円 (税別)  |
| ■ ひより    | 400円 (税別)  |
| ■ 柿のようかん | 1200円 (税別) |

かきいろ

奈良市三條本町 1-1 JR 奈良駅ビエラ奈良 2F

TEL.0742-25-3535

<http://kaki-iro.com/>

吉野地方の山々の斜面には大きな木にたくさんの実をつけた柿畑が広がっています。干し柿以外の柿の加工品がほとんどない時代に、傷つき捨てられる柿をなんとかしたいという想いから、時代とともに様々な柿のお菓子をつくり、その流れから「かきいろ」が生まれました。

純粹に柿の味がするお菓子をつくり、柿の良さを一人でも多くの方に伝えたいと想っています。

## おいしい焙じ茶の愉しみ



### 「焙じ茶の香りがもたらすホッとするひととき」

- おいしい茶粥 1000円（税別）
- おいしい焙じ茶 1500円（税別）

大和茶TEAM-T  
奈良市水間町2170番地

\*取扱店：「煎茶と靴下、そして菓草」  
大阪市中央区南船場3-2-6 大阪農林会館207  
TEL 070-5438-2016

『お茶を始めたころ、先輩が「毎年、毎年、一年生や」と言っていた。

その時はなんのことがピンとこなかった。

そうして二十年以上たった・・・

今、ようやくその先輩の言葉の意味を実感してきたように思う。

「おいしい茶粥」は、こぼばしい香りの焙煎茶にお米、それにレシビが付いています。奈良の典型的な茶粥が愉しめます。「おいしい焙じ茶」は、こぼばしい香りとすっきりとした味わいが特徴です。食事の時やホッとしたい時に心が休まります。ミルクやマーメイドジャムでのアレンジも愉しめます。



## 奈良こんふえいと



「カリ、と食べて口の中で広がる豊かな香り」

■ 奈良こんふえいと 1000円（税別）

株式会社 砂糖傳増尾商店  
奈良市紀寺町670-1  
TEL.0742-26-3108  
<http://www.satouden.com>

こんべいとう…砂糖と糧を原料に、表面に凸凹の突起のついた砂糖菓子。語源はポルトガル語の「コンフェイト (confeito)」から、その「こんべいとう」が日本に伝えられ約450年。創業約160有余年の砂糖傳には砂糖の卸商として、奈良を代表する「こんべいとう」をつくりたいという想いがありました。その想いを形にしたのが「奈良こんふえいと」です。原材料の砂糖を厳選し、製造法にこだわった「奈良こんふえいと」は、どこか懐かしい味を感じていただける砂糖菓子です。

## 砂糖傳の御門米飴



「古来より伝来するお米が原料の水飴」

■ 御門米飴 1143 円（税別）

株式会社 砂糖傳増尾商店  
奈良市紀寺町 6 7 0 - 1  
TEL. 0 7 4 2 - 2 6 - 3 1 0 8  
<http://www.satouden.com>

猿沢池から南へ、奈良町の中に「砂糖傳増尾商店」があります。

安政元年、増尾傳次郎が大和茶の店として開業、津から船に積んで大阪や堺などへ卸に行く、その帰りに沖繩の黒糖、阿波の白下や和三盆を積んで帰ったのが砂糖傳のはじまりだそうです。店の看板商品の御門米飴は、米を麦芽で糖化した古来より伝承された食品で、まろやかでコクのある優しい甘味が特徴です。琥珀色で独特の風味がある米飴は、そのままでも美味しくいただけますが、お料理やお菓子作りで使用する事で、またひと味違う美味しさが楽しむことができます。

## 聖山の折敷



### 「シンプルな一枚の板」

- 折敷 450×300mm 15000円 (税別)
- 折敷 240×240mm 7000円 (税別)
- 折敷 300×150mm 6000円 (税別)

坪岡林業 / 聖山  
吉野郡吉野町橋屋1番地  
TEL.0746-52-0118  
<http://www.hijiriyama.com/>

吉野は吉野杉の産地としても有名な林業の町。その歴史は室町時代末期に造林が行われた記録があり、江戸時代中期以降は酒樽に用いる木材である樽丸の生産が盛んでした。「聖山」も江戸時代の樽職人だった坪岡治兵衛が、吉野の山にある「聖ノひじり」という地名から屋号に「聖山」を使ったのが始まりです。折敷は杉で作られたシンプルな板です。製品そのものが主役である必要がないという考えから、必要のない加工はあえてせず木目という自然が作り出すグラフィックのみ、それが一番「木」を感じて頂くことができるからです。その板から創り出される空間は、貴方の想像力で自在に景色を変えてくれることでしょう。

## 木の香り、木の肌触り、木の音、木目の美しさ



### 「天然木のコースターと鍋しき」

- 組子コースター 3000円 (税別)
- 雑木林ポット敷 1800円 (税別)
- 雑木林コースター 1300円 (税別)

杉森建具  
奈良市池之町 15

\*取扱店:「煎茶と靴下、そして薬草」  
大阪市中央区南船場 3-2-6 大阪農林会館 207  
TEL 070-5438-2016

木の香り、木の肌触り、木の音、木の木目の美しさ、さらにその木に様々な職人が手を加えてものをつくる。古来より日本はそんな木の文化に包まれてきました。そのような木の文化は障子や格子戸といった建具をつくり出しました。建具には日本の風土にあうように考案され、繊細で機能的な技術がつかわれています。中でも組子の技術は、0.1ミリ単位の精密さでつくられています。そんな技術でつくられたものを皆様に日々の暮らしの中で使っていただきたいと考えています。

## Essential oil と蜂蜜を配合したディソープ



「水蒸気蒸留法で抽出した純度100%の精油」

- Day soap 1200円（税別）
- Essential oil 1800円～3000円（税別）

森との関係  
吉野郡十津川村  
<http://moritonokankei.jp/>

\*取扱店：「煎茶と靴下、そして菓草」  
大阪市中央区南船場 3-2-6 大阪農林会館 207  
TEL 070-5438-2016

十津川村は、東京23区がすっぽり入る面積です。そのおよそ96%が森林で、千メートル級の急峻な山々が連なり、空から見ると、おそろくひとつの大きな森に見えるでしょう。森にある木々は30年〜100年と云ち、今は最盛期であり、木々が果立つ時でもあります。

同時に間伐などの手入れの時期でもあり、それらのスギ葉、ヒノキ葉、ヒノキ材を使用し作られた「森との関係」の商品は、川や森、自然を汚さない。時、人、環境にやさしい商品です。

## 自然生薬 100%の薬湯



### 「身体を温める温熱療法」

■ 薬王の薬湯 700円（税別）

薬王製薬 株式会社 / YAQUO ウォームズ研究所

磯城郡田原本町 245 番地

TEL. 0 7 4 4 - 3 3 - 5 8 8 8

<http://www.yakuo.co.jp>

薬王ウォームズ研究所が開発した薬湯は生薬100%の薬用入浴剤です。香りが非常によく浸透性が高い大和当帰（ヤマトトウキ）をはじめ、シヤクヤク、コウカ、シヨウキョウ、チンピなどと10種類の自然生薬を配合しました。体を温める温熱療法は日常生活にも取り入れやすい治療方法です。生薬成分が血液の巡りを改善し、体の芯から温めることにより冷え性や神経痛、腰痛、肩こり、疲労などを改善します。

## ミントのちから



### 「ミントセラピューティクスからデビュー」

- ミントパッチ 700円（税別）
- ミントジェル 1300円（税別）

吉田養真堂／ミントセラピューティクス  
TEL.0744-22-2374  
榎原市南八木町3丁目8番22号

「ミント・セラピューティクス」は、1928年創業の製薬会社吉田養真堂の新しいブランドです。

医療用、一般用医薬品の開発研究に取り組む中で、長年培ってきた貼付型外用製剤技術を活かし「ミントパッチ」と外用剤開発の立場から化粧品製造販売業の許可を取得し「ミントジェル」を発売しました。

ミントは、シソ科の多年生植物です。清涼感のある、さわやかな香りでおなじみのハーブです。その「ミントのちから」をお試しください。

## What should a button do ?



「シャツ好きな方に喜ばれます」

### ■ Shell buttons on card

1200 円 ~1500 円 (税別)

\*ハート型のオブジェ (参考出品)

4Nov

橿原市十市町 800 番地

\*取扱店: 「煎茶と靴下、そして薬草」  
大阪市中央区南船場 3-2-6 大阪農林会館 207  
TEL 070-5438-2016

海のない奈良で貝釦と思われるかもしれませんが、奈良の地場産業の一つで、今では全国一の生産量を誇るほどです。県内には大小さまざまな企業がありますが、4 NOV の貝釦は小さな製作所で、貝ひとつひとつからくり貫き、削り、穴をあけ、磨く、数多くの工程を一人手作業で作られたものです。貝釦を見て、眺めて、触って、布に縫い付けて、楽しんで頂きたいと願っています。シャツの釦を一個付け替えることで、お客さまに「自然」を暮らしの中で感じて頂けるように、貝の持つ魅力と美しさをより一層引き出しました。



## 麻の蚊帳生地のおふきん



「吸水性がよく、乾きの早いのが特徴」

- 麻ふきん 小 400円 (税別)
- 麻ふきん 大 800円 (税別)

株式会社 岡井麻布商店  
奈良市中之庄町107  
TEL.0742-81-0026  
<http://mafuo-okai.com>

麻は昔から日本人にとっては神聖な物であり、生活の一部としても愛用されてきました。赤ちゃんが生まれた時のへその緒は麻糸で切り、子供は麻のよう  
に丈夫にすくすく育つようにと麻の葉模様の着物で  
育てたとのいわれもあります。岡井麻布商店は、麻を  
織り続けて150年。江戸時代には産業として栄え、  
武士の袴などを織った時代もありました。  
天然繊維であり環境にやさしい素材の麻の蚊帳生地  
を使った「麻ふきん」は吸水性がよく、乾きの早い  
のが特徴です。今の生活環境の中で、いかに使いた  
すく生活の一部として使っていたらどうか、岡井  
麻布商店は「麻」と共に考え歩んでいきます。

## ふすま地ブックカバー



「手に馴染み、愛読書を優しく包みます」

■ ふすま地ブックカバー

900円～1800円（税別）

ねっとわーくぎやらりーならっぷ

奈良市光明院町5番地

TEL.0742-22-8851

<http://naramachi.nawrap.com>

「ふすま」とは、古来より日本の建築において、部屋と部屋の間仕切りや押し入れに使用されている日本特有の扉です。

中でも、奈良蚊帳と同じ粗目の織り技術で作られた「ふすま地」は、手触りが良く耐久性に優れています。私どもは日本人が忘れていた、日本の伝統文化の一つであるふすま地の素晴らしさをもっと発信していきたい想いから、ブックカバーをはじめとした「ふすま地文庫シリーズ」を立ち上げました。伝統的な素材に新たに現代のデザインをほどこしました。美しい「ふすま地」が愛読書を優しく包みます。

## 奈良絵扇子



「伝統工芸品の粋を生活の中で」

■ 奈良絵扇子 3200円（税別）

池田含香堂

奈良市角振町16

TEL.0742-22-3690

<http://narauchiwa.com>

創業約150年の歴史と製法を頑固なまでに守り続ける扇子専門店です。

奈良絵とは、奈良時代の絵因果経（過去・現在・未来）にある絵図を原画として創作されたものです。因果経は、釈迦の今生（前世）と仏伝（今生）を説いた経巻で、この奈良絵を扇面の表に描き、裏面には、松・竹・梅・鶴・亀の縁起物が描かれています。

男物（大）・女物（小）があり、その特異な画風は全国で愛好されています。

## 万年筆型の筆ペン



「美しい字をしたためたい方に」

■ くれ竹万年毛筆 本毛 ペっこう調金  
5000円（税別）

株式会社 呉竹  
奈良市南京終町7丁目576  
TEL.0742-50-2050  
<http://www.kuretake.co.jp>

書道の「墨づくり」から始まった、1902年創業の老舗呉竹の携帯に便利な万年筆型の毛筆タイプの筆ペンです。筆先には、熟練の筆匠が丹念に造筆した黝毛を使用し、軟らかくしなやかな本格派の書き味です。結婚式などのフォーマルな場面でご使用になれるべっこう調の金色を軸にし、桐箱入りで記念品・贈答品にも最適です。専用替え穂首（DAM2-999）、専用スぺアーインキ（DANI05-99H）を利用することで、永く愛用頂けます。

※スぺアーインキ3本付き。（水性染料インキ）

## 奈良筆



### 「使う人を活かすための筆」

- 御筆（3本セット） 15000円（税別）
- 象牙の紅筆 20000円（税別）
- 桧の紅筆 7000円（税別）

有限会社 管城

奈良市南肘塚町104-11

TEL.0742-24-0444

日本の筆の歴史は奈良から始まり、その製造技術は日本各地へと伝わって行きました。奈良筆の歴史を今に伝える「管城」は奈良の閑静な住宅街に工房を構え、筆づくりの職人が全行程を一人で行っています。それは使う人をイメージして筆に想いや気持ちを含めるためです。あまり筆を使わなくなった現在、しかし「書く」ということはなくならない。「書く」ということが存在する限り、筆は多くの人とつながる可能性を秘めています。「奈良筆は買って終わりではなく、買ってからお付き合いが始まる」その言葉を旨に、職人は今日も筆を作っています。

## 奈良墨



「墨の濃淡だけで風や光や空気や音までも表現」

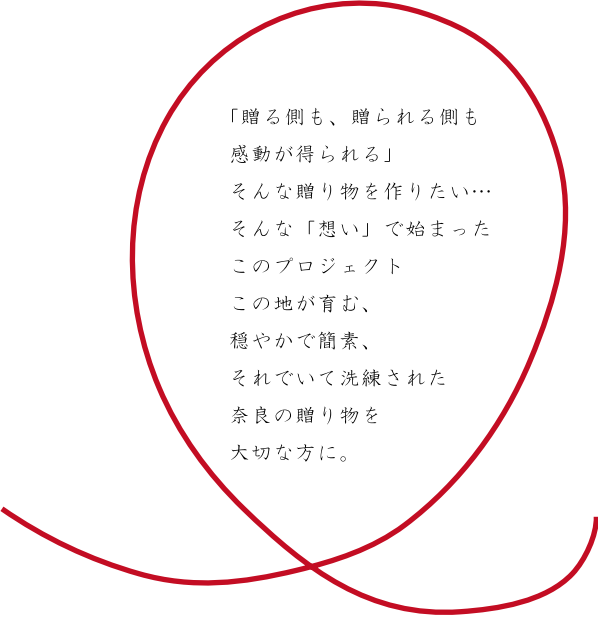
- 各種変形墨 3000～5000円（税別）
- 3個入り墨 3500円（税別）

松壽堂  
奈良市東城戸町10  
TEL.0742-22-3023

「黒じ」<sup>1</sup>と書く墨という文字は、古来、墨の発祥地中国では、どの時期に作物の種を植え刈り取ったか、どの時期に獲物がどの辺に現れ獲得できたかと言う記録を、「語り部」ではなく絵や文字で残す必要から、黒い石を粉にして漆と併せ木竹に書き残したところから出来たと云われます。

また、実際にお使い頂いている書道の先生方から、墨色を大事にされる方は使う水にも気を使われたり、「墨を磨るには優しい力加減でゆっくり練るように磨った方が良い」と聞かせて頂いたりします。墨を磨る時間の「ゆとり」「墨色無限」と云われる「墨」の良さを再認識して買える時が来る事を願います。





「贈る側も、贈られる側も  
感動が得られる」  
そんな贈り物を作りたい…  
そんな「想い」で始まった  
このプロジェクト  
この地が育む、  
穏やかで簡素、  
それでいて洗練された  
奈良の贈り物を  
大切な方に。